

目 次

第 1 章 歩行者系舗装とその役割.....	1
1.1 歩行空間を取り巻く社会情勢の変化.....	1
1.2 ユニバーサルデザインの浸透.....	2
1.3 歩行者系舗装とは.....	3
1.4 歩行者系舗装とユニバーサルデザイン.....	4
1.5 歩行者系舗装の設計と課題.....	5
1.6 本書の位置づけ.....	8
参考文献.....	10
第 2 章 土木学会の取り組み.....	11
2.1 試験・調査の背景と概要.....	11
2.2 各種要求性能に対応する試験項目.....	13
2.2.1 衝撃吸収性・弾力性に関する試験項目.....	13
2.2.2 すべり抵抗性に関する試験項目.....	13
2.2.3 平たん性に関する試験項目.....	14
2.3 アンケート調査.....	15
2.3.1 全サンプルに対する結果.....	17
2.3.2 年代別の結果.....	18
2.3.3 性別の結果.....	20
2.4 総合的評価指標に影響を及ぼす要因.....	23
2.5 まとめ.....	24
参考文献.....	26
第 3 章 歩行者系舗装の衝撃吸収性・弾力性評価.....	27
3.1 はじめに.....	27
3.2 衝撃吸収性・弾力性に関する既往の研究.....	27
3.2.1 既往文献の検索.....	27
3.2.2 文献調査結果.....	28
3.3 衝撃吸収性・弾力性の評価試験方法.....	32
3.3.1 舗装路面の弾力性試験.....	32
3.3.2 舗装路面の硬さ試験.....	32
3.3.3 ASTM の転倒時安全性試験（HIC 試験）.....	33
3.3.4 小型 FWD による地盤支持力試験（小型 FWD 試験）.....	34
3.4 土木学会による衝撃吸収性・弾力性調査結果.....	36
3.4.1 アンケート調査結果と各種試験結果の関係.....	37
3.4.2 アンケート調査・試験結果のまとめ.....	39

3.5 衝撃吸収性・弾力性評価試験の相関性の検討.....	44
3.5.1 小型 FWD 試験と舗装路面の硬さ試験.....	44
3.5.2 舗装路面の弾力性試験と舗装路面の硬さ試験.....	45
3.6 衝撃吸収性・弾力性を考慮した舗装構造設計法.....	47
3.6.1 2 層系弹性地盤モデルによる方法.....	48
3.6.2 多層弹性解析プログラムによる方法.....	50
3.7 舗装構造の設計例.....	51
3.7.1 既設舗装上に施工する場合.....	52
3.7.2 路盤から構築する場合.....	54
3.8 歩行者系舗装の構造設計の今後の課題.....	56
参考文献.....	57
 第 4 章 歩行者系舗装のすべり抵抗性評価.....	59
4.1 はじめに.....	59
4.2 すべり抵抗性に関する既往の研究.....	59
4.2.1 既往文献の検索条件.....	59
4.2.2 すべりやすさの評価基準.....	60
4.2.3 舗装材のすべり抵抗値.....	63
4.2.4 各種試験方法の相関.....	65
4.2.5 調査結果のまとめ.....	68
4.3 歩行者系舗装におけるすべり抵抗性に関する試験方法の調査.....	69
4.3.1 試験法の分類.....	69
4.3.2 調査結果.....	69
4.3.3 試験方法のまとめ.....	78
4.4 すべり抵抗性に関する東京都の取組み.....	79
4.4.1 背景.....	79
4.4.2 すべりやすさに対する評価基準の考え方.....	79
4.4.3 路面のすべり性能を表す指標の設定と測定方法.....	80
4.4.4 評価基準の構築.....	81
4.4.5 評価基準の取込み.....	87
4.5 実舗装におけるすべり抵抗性の測定とアンケート調査結果.....	87
4.5.1 測定の目的.....	87
4.5.2 測定方法.....	87
4.5.3 測定結果.....	88
4.5.4 各試験結果の相関.....	91
4.5.5 国際摩擦指標(IFI)による各舗装材の評価.....	92
4.5.6 アンケート調査結果.....	95
4.6 すべり抵抗性が低下した場合の対策.....	97
4.6.1 IL ブロック舗装の事例.....	97
4.6.2 タイル舗装の事例.....	98

4.6.3 天然石舗装の事例.....	99
4.7 今後の課題.....	99
参考文献.....	101
 第 5 章 歩行者系舗装の平たん性評価.....	103
5.1 はじめに.....	103
5.2 歩道の平たん性 $\sigma_{0.5m}$ に関する既往の研究.....	103
5.2.1 文献調査結果.....	103
5.2.2 既往の研究事例紹介.....	104
5.3 ラフネス $\sigma_{0.5m}$ に関する測定装置.....	108
5.4 歩道の平たん性と目地段差の測定.....	113
5.4.1 調査の概要.....	113
5.4.2 アンケート調査.....	114
5.4.3 ラフネス $\sigma_{0.5m}$, 目地段差の測定結果.....	114
5.4.4 アンケート調査結果とラフネス $\sigma_{0.5m}$, 目地段差(平均・最大)の関係.....	121
5.5 車椅子の振動加速度を用いた平たん性評価の試み.....	128
5.5.1 測定の概要.....	128
5.5.2 測定結果.....	129
5.5.3 平たん性の評価指標と振動レベルの関係.....	132
5.5.4 まとめ.....	134
5.6 今後の課題.....	134
参考文献.....	136
 第 6 章 歩行者系舗装の路面性状と歩きやすさ評価.....	137
6.1 はじめに.....	137
6.2 平たん性に関するアンケート調査 (取組事例 1 および 2)	137
6.2.1 取組事例 2 の概要.....	137
6.2.2 アンケート調査.....	140
6.2.3 実験結果.....	142
6.3 歩行者系舗装の物理性状と歩きやすさ評価結果まとめ.....	146
6.3.1 衝撃吸収性・弾力性.....	146
6.3.2 すべり抵抗性.....	147
6.3.3 平たん性.....	148
6.4 まとめ.....	150
参考文献.....	152
 索引.....	153